

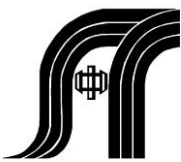
平成 24 年度より、横浜市立小・中学校では、全 142 ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは。敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育 9 年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力向上や児童生徒指導上の課題を解決します。

横浜型小中一貫教育

深谷中ブロック

深谷中ブロックは、次の学校で構成されています。

深谷中学校



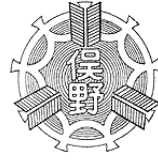
深谷小学校



深谷台小学校



俣野小学校



小中一貫会議の充実

児童支援・生徒指導に関わる内容や、人権に関わる研修を行いながら、深谷中ブロックの「子ども観」について意見交換を行います。子どもが安心して 9 年間の一貫した生活が送れるように時代の変化と地域の特徴に合わせた取組みについて話し合います。

合同授業研究会の実施・小学校重点研への参加・小学校授業参観

中学校の授業を年 1 回参観し、研究会行います。小学校で身につけさせたい力と、中学校で伸ばしていきたいことについて研究します。今年度より小学校の重点研に中学校の教員が参加しています。また、年 5 回小学校の授業を参観して、共通理解を深めています。

深谷中ブロックの一貫教育の取組みを一部紹介します。

地域清掃活動

長年の功績が認められ平成 24 年度に横浜市から表彰を受けました。児童・生徒・地域が一体となり、ブロックの清掃活動を行います。参加は任意で、100 名程度の生徒の参加があります。



部活動体験

児童生徒交流日にも部活動の見学を実施していますが、11 月から 2 月まで、中学校の部活動に体験入部できる日を設定し、実際に児童が体験します。生徒は、児童が来ることで教えることの大変さや、自分の成長を感じることが出来ます。

深谷中ブロックの目指す子ども像
自己教育力を身につけ、
自らの手で自分を高められる子ども！